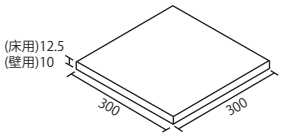
施工要項

二酸化タイル

■内装床の施工

内装床タイルは、主に合板下地に接着剤を用いて、全面接着剤張りで施工します。
接着剤不足は割れやかけを生じさせる原因となるため、必ず全面に接着剤が行き渡るよう施工してください。
合板下地で板間の動きが大きくなる恐れがある場合は、施工前に目違いを防止するため補強材を貼り付けます。

屋内壁	屋内床	居室床	浴室壁・床	外壁・床	耐凍害	床暖房
◎	◎ (靴ばき可)	◎	×	×	×	×



■下地適応表

合板 ➡	JIS1 類、根太ピッチ 303mm 以内の場合は 12mm 厚以上、455mm ピッチの場合は 15mm 厚、二重床の場合は 12mm 厚以上を 2 枚張りとしてください。 内装床用有機系接着剤（タイルメント社 MS フロアー 10）をご使用ください。
RC ➡	圧着施工のため不陸調整を行い、下地精度を ±2mm/2m としてください。 内装床用有機系接着剤（タイルメント社 MS フロアー 10）をご使用ください。

●接着剤の塗布量、用法は接着剤の説明書に従い、正しく施工してください。

■下地に関する注意点

下地がコンクリートの場合、コンクリートの硬化や乾燥による影響を受けやすく、仕上がりにも大きく影響します。下地のクラックの発生により、その上のタイルにひびが入ることもあります。現場打ちコンクリートの場合は特に注意が必要です。 **①所定の養生期間（最低 3 週間以上）をとる。** **②施工前に不陸の調整を十分する。**

■施工

割付け

・原則として左右対称に割付けます。
・自然素材でできているため、１枚１枚色ブレがあります。１度製品を広げてバランスよく配置してください。
・壁際の割付けにあたっては寸法等十分になるように気をつけて下さい。

基準線

・部屋の長手方向に基準線を墨だしして下さい。
・基準線に沿ってタイルを丁寧に敷き並べて下さい。

接着剤のクシ目は 5mm クシ目ごてを使用し、しっかり立ててください。クシ目立て後はゴミ、埃の付着に注意してください。接着剤の硬化が始まらないうちに張り終えてください。下地合板を二重に貼る場合は上下の継ぎ目が合わないように注意してください。全面圧着張りのため、下地に不陸があるとそのままタイルの不陸につながる場合があります。ご注意ください。目地幅は 3mm～5mm を推奨します。フローリングとの取り合いで段差が生じる場合は見切り材等で調整してください。

■目地詰め

接着剤が完全に硬化した後、目地スペーサーをはずします。弾性目地材**【推奨：INAX 内装床用弾性目地材 スーパークリーン インテリアフロア II】**を使用し、目地詰め作業を行ってください。他部材（フローリング、見切り、ドア枠等）との取り合いはコーキングとしてください。余分な目地材の拭き取りを行います。拭き取り時にピンホールや目地不足が生じた場合、直ちに補修を行ってください。

■商品の留意点

・生産ロット単位で色合い・光沢が異なる場合があります。筋状の模様やひび割れや傷あとを意匠として施しています。
・無釉・無焼成タイルは表面に擦り傷がつきやすく、特に濃色では目立ちますので土や砂を持ち込む可能性の少ない床でのご使用をお薦めします。
・日常のメンテナンスは石床用ワックスを用いた定期的なケアを推奨します。

■施工上のご注意

・生産ロットにより実際の寸法が異なる場合がありますので、タイル割付けの際はご注意ください。
・表面は粘着力の強い養生テープやガムテープは保護剤を傷める場合がありますので使用しないでください。マスキングテープも長時間貼り付けたままにしないでください。
・タイル施工後、お引き渡しまでの養生時に、養生用プラダンとタイル表面との間に砂や土などの異物が入ると、擦れてキズの原因となりますので、事前清掃およびこまめな確認をお願いします。
・タイルを養生する場合は、張付け材・目地材が硬化・乾燥してから行ってください。

〈お問い合わせ〉
日本エムテクス株式会社
東京都世田谷区駒沢 2-16-18-3 F
03-5433-3450　info@nmtecs.jp